



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1990号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 諏訪部照久 幹事 千葉 慎二



広重版画より 三島 朝霧

第2053回例会

2014.12.18晴

司 会 三田明宏君

ロータリーソング 「日も風も星も」
指揮 登崎久夫君

会長挨拶 副会長 鈴木郁夫君

年末のあわただしい中での選挙、思いがけない選挙でしたが、ほっとされた方、残念だった方々だと思います。解散当初はいろいろな予測があったと思いますが、結果は新聞等の直前の予測通り与党の圧勝となりました。消費増税の延期が良い方向に働き、景気の回復が隔々まで行きわたり、来年が良い年であるように期待をしています。

またこの季節、今年の冬は暖冬との予測もありましたが、現在は北日本、日本海側、特に北海道では数年に一度の大変な大雪となっているようです。低気圧が急速に発達し豪雪や暴風、高波、高潮、全国的に冬型の気圧配置のため寒い毎日が続きそうです。

皆様方には、気候の変動、忘年会シーズンとも相まって身体のリズムがくずれやすくなりますので、体調の管理に気をつけてお過ごしになっていただけたらと思います。

また海外に目を転じますと、パキスタンではノーベル平和賞を受賞したマララさんを襲ったと同じ組織のタリバン運動が、学校を襲い無差別に発砲して生徒132人を含む141人を殺害したという悲惨な出来事がありました。タリバンへの軍の掃討作戦に対する報復だそうですが、目には目を歯には歯を、これはイスラムの中の特殊な世界だからなのでしょうが、報復にしてはわれわれの感覚では少し極端に過ぎるような感じがいたします。イラク、シリアでのイスラム国の台頭とともにこれからの世界の平和にとって目を離すことはできません。

また今日アメリカがキューバと国交正常化交渉を始めるというニュースがありました。国交断絶したのが1961年、翌年に第3次世界大戦が危惧された、キューバ危機が起こりました。私が中学生の頃でしたが、ああ戦争にならなくてよかった、まだ国交がなかったのか、という思いとともに、ケネディ、

フルンチョフ、カストロ、チェゲバラなどの名前が即座に浮かび、懐かしく思い出されました。

さて今月は家族月間です。ロータリアンは家族月間を祝うため、プロジェクト、活動、行事を通じて家族と地域社会への貢献を示すように奨励されています。ここでいう家族とは、会員の配偶者、子供だけでなく親戚、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者、財団学友などロータリーに関係するすべての組織の人を含めた、大変広い、いわゆるロータリーファミリーを意味しているそうです。家族への心配りを行い、感謝の気持ちをもって臨むことが、会員増強、退会防止、組織の強化につながり、さらに人道的奉仕活動を発展させることによって、社会の信用を得、活力ある豊かなロータリーの発展につながると期待されています。次週は忘年家族例会ですが、このような気持ちを持って臨んでいただけたらと思います。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正率
前々回	29/43	67.44%	37/43	86.05%
今回	36/45	80.00%	会員総数	49名

欠席者 石井(彰)君、石井(良)君、勝間田君、川名君、窪田君、佐野君、鈴木(正)君、橋本君、柳田君

幹事報告

幹事 千葉慎二君

- ①先月お亡くなりになられた渡邊雅晃パスト会長の奥様より、皆様へのお礼のご挨拶を戴きました。
- ②本日は三田さんの卓話。
- ③12月25日(クリスマス忘年家族例会)、1月8日(4クラブ合同新年例会)は共に例会場変更(みしまプラザホテル)、例会時間変更(18:00開会点鐘)なのでお間違え無く。
- ④1月の理事役員会は、1月15日(木)11:45(例会前)から開催致します。

2014~2015年度
国際ロータリー会長
ゲイリーC.K.ホアン

ロータリーに輝きを

スマイルボックス

- ◆ゴルフ同好会、12月14日(日)三島ゴルフクラブにてゴルフコンペを行いました。優勝佐野さん・準優勝平出さん・3位千葉さんでした。次回は来年3月に行います。
- ◆諏訪部(敏)君、心を入れ替えて公安を休み、こちらに出席することになりました。来週のクリスマス忘年家族会も出席します。1月8日の四クラブ合同新年会にも出席します。偉いでしょ。
- ◆Eテーブル、Eテーブル会、雨の寒い中無事楽しく出来ました。室伏さんには大変お世話になりました。有難うございました。

ROTARY NEWS 2014年世界ポリオデー

米国エバンストン

世界におけるポリオ(急性灰白髄炎)の発症数は99%減少し、ポリオ撲滅は"あと少し"に迫っています。ロータリーは、2018年までのポリオ撲滅をめざすGPEI(全世界ポリオ撲滅推進計画)の主要パートナーとして、10月24日の「世界ポリオデー」を前に、予防接種、監視活動、研究を強化するための4,470万ドルを投じました。

撲滅が実現した場合、ポリオは、天然痘に次いで人類が撲滅する史上2番目の疾病となります。大々的な予防接種活動によって、今日までに193カ国でポリオ感染が阻止されてきました。ロータリーによる今回の資金投入は、現在もポリオの危険にさらされている国々の子どもを守る事が主な目的です。

約1,850万ドルの資金は、今も野生ポリオウイルスによる感染が起きている次の3カ国で使用されます:アフガニスタン(740万ドル)、ナイジェリア(840万ドル)、パキスタン(270万ドル)。また、950万ドルは、ポリオフリーとして認定されたものの、上記3カ国からのウイルス流入によって感染が起きている次の国で使用されます:カメルーン(350万ドル)、エチオピア(200万ドル)、ソマリア(400万ドル)。

さらに、1,040万ドルは、ポリオフリーに認定されているものの、再感染のリスクが高い国で使用されます:コンゴ(150万ドル)、インド(490万ドル)、ニジェール(100万ドル)、南スーダン(200万ドル)、スーダン(100万ドル)。

残りの570万ドルは、ポリオ撲滅のための研究費として使用されます。

また、ロータリーでは、撲滅活動のパートナー団体であるユニセフと世界保健機関(WHO)への資金提供も行っています。これらの団体は、ポリオの影響下にある国の政府やロータリー会員と協力し、予防接種の実施計画を立てます。

おめでとう

会員誕生日	亥角君
入会記念日	瀬川君
奥様誕生日	藤江君
結婚記念日	花房君

卓話

私事で恐縮です PartII

三田明宏君

前回からの続き

高校は東京都町田市にある、幼稚部から大学院までである一貫教育校に入学する事になります。

ここで振り返りますと、私にとって未知なる貴重な体験をすることになります。一つは寮生活、二つ目はラグビーフットボールです。

寮では、四人部屋に必ず一年から三年生が生活を共にし、たいして広くもない部屋に二段ベットが二組、机が四つあるだけで、トイレ、お風呂、食堂は共同と質素な内容のものでした。また、起床、就寝、入浴、自習と時間がしっかりと決められており、あの頃が人生で一番規則正しい生活を送ったと思います。同時に、ある事情によりラグビー部に入部します。ルールすら知らない、ましてや今までさして激しい運動をしておりませんでしたので、この競技に慣れるまでかなりきつかった記憶があります。それでもたいして強いチームではありませんでしたが、徐々にラグビーの魅力に引き込まれていった良い思い出があります。この二つの経験を通じて縦の関係もしっかり習得することとなります。

そのまま大学に進学し、高校生活の反動か恥ずかしいほどの生ぬるいチャラチャラした状況で、強いて言わせて頂けるのならば、友人、仲間関係だけはしっかり築いて来たと思います。

幼少期より親は元より周りにも言われてきましたのは、お前は必ず家を継ぐというものでした。大学四年の時、父親が入院するという事態が起き、自宅より通学し稼業を手伝うこととなります。卒業後、本格的に両親の商う仕事、酒店と駐車場業を家族共々営んでいきます。当時は本当に仕事が多く、職業柄長時間働いておりました。

数年後、先輩方の勧めもあつて青年会議所に入会する事になり、ここで多くの仲間を作り、多くの事を学びました。その後も仕事と並行して様々な会に入り、色々な意見や考え方を聞かせて頂いています。途中酒店の方は閉めてしまいましたし、依然として厳しい時代が続いている中で、なんとか駐車場業で支えながら今日に至っております。

(週報担当:瀬川幸信)